

受賞者の概要

1 農業経営の部

今年度の農業経営の部には、各地から7点の応募があった。受賞された方々は先見性のある経営戦略のもと、ICT技術の活用による生産技術向上やコスト削減等の努力に加え、販売方法についても様々な創意工夫を重ねることで、高い所得を確保しており、本県の農業振興に大きく貢献し、農業者の模範となる経営が多く見られた。

審査は、「経営、生産技術、販売」の評価を基本に、地域貢献や環境負荷低減、安全・安心といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て各賞を選出した。

【大賞（農林水産大臣賞・栃木県知事賞）】

◆高松 英樹・高松 正穂（那須塩原市）

●経営の特色

- ・「かんきょう」にやさしく、「あんしん」して「おいしく」食べられるトマトづくりをモットーに、消費者の視点に立った生産を行っている。
- ・栽培においては、ハイワイヤー誘引や高所作業台車などを地域でもいち早く導入し、効率的で生産性の高い経営を実践してきた。
- ・木質ペレット燃料の暖房機を導入するなど化石燃料の削減にも取り組み、環境負荷低減にも意欲的である。
- ・販売では、首都圏のマルシェ等で自ら販売してきた経験を活かし、百貨店との直接取引や、ECサイトの活用により着実に販路を拡大している。
- ・那須塩原市の指導農業士として、積極的に研修生を受け入れており、新規就農者の確保・育成にも貢献している。

●受賞のポイント

オリジナルブランドを確立し、その生産から流通に至るまで全てにこだわりを持つことで、高単価で顧客満足度の高い商品づくりに取り組んでいる点が特に高く評価され、大賞に選出された。



高松英樹 氏（左）・高松正穂 氏（右）



オリジナルブランド「味恋とまと」

【栃木県知事賞】

◆有限会社ジョルディカワムラ（日光市）

●経営の特色

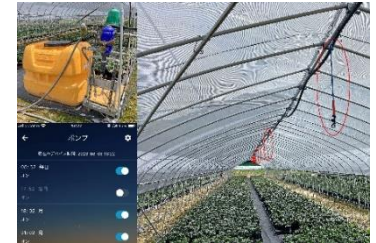
- ・カリブラコアやクリスマスローズを中心とした鉢花を年間約50万鉢生産している。
- ・新品種を自社開発することで、消費者のニーズに対応した有利販売を実現している。

●受賞のポイント

自ら開発したシステムで栽培から出荷までを管理することで、経営管理の合理化を着実に進めてきた点や、コロナ禍で花き全体の消費が停滞した中でも、消費者の視点に立った品種の選抜とECサイトの活用等より経営を発展させてきた点が評価された。



代表取締役 川村一徳 氏



スプリンクラー設備の様子

【栃木県知事賞】

◆有限会社黒崎乳業（芳賀町）

●経営の特色

- ・計画的な増頭と設備投資により、先代から続く酪農経営を着実に発展させている。
- ・飼料の自給率100%を目標に飼料作物を作付けているほか、地域の耕種農家と連携し、稲WCSや粃米サイレージを製造している。

●受賞のポイント

飼料費の高騰が畜産業に大きな影響を与える中、自給飼料の生産により大幅な飼料費の削減に成功し安定的な経営を行っている点や、粃米サイレージ製造による耕畜連携を実現している点が評価された。



代表取締役 黒崎浩 氏



稲WCS

【栃木県知事賞】

◆元澤 鋭州・元澤 洋子（足利市）

●経営の特色

- ・7haのさつまいもの有機栽培と、焼き干し芋を中心とした6次産業化に取り組んでいる。
- ・さつまいもの品種や加工の方法などを試行錯誤し、パティシエとも連携しながら商品開発を行っている。

●受賞のポイント

加工所併設の直売所やECサイトなどを活用し、着実に販路を拡大させていることに加え、有機JAS認証の取得にも積極的であり、土地利用型園芸と有機栽培のモデル的経営となっている点が評価された。



元澤鋭州 氏



さつまいも加工の様子

2 農村活性化の部

今年度の農村活性化の部には、各地から5点の応募があった。他の組織と連携し、地域資源や人材を活かした地域活性化に取り組み、地域の魅力発信による交流人口の増大に寄与するなど、本県の農村活性化に大きく貢献し、他地域の模範となる組織・団体が多く見られた。

審査は「地域づくりの担い手の確保、地域農林水産業への寄与、住みよい農村環境の保全・向上」の評価を基本に、地域づくりのための自主的な努力・創意工夫や、合意形成・計画性、推進体制の整備・運営といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て、各賞を選出した。

【大賞（関東農政局長賞・栃木県知事賞）】

◆大田原とうがらしの郷づくり推進協議会（大田原市）

●活動の特色

- ・地域の伝統野菜である唐辛子「栃木三鷹」を核とした地域活性化に取り組んでいる。
- ・平成15年に食品加工会社（吉岡食品工業株式会社）が中心となり、生産者や地元飲食店などにより当協議会を設立して以降、唐辛子を用いた特産品づくりやPRイベントの開催を行っている。
- ・令和元年に「とうがらし生産量日本一宣言」、令和5年には「栃木三鷹」の地域団体商標登録を行うなど、全国に「とうがらしの郷大田原」を発信する活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・唐辛子は、水稲と作期の競合が少ないことから、複合経営により農業者の収益性が向上したほか、調整作業では高齢者や障がい者を積極的に雇用することで、地域の雇用創出にも寄与している。

●受賞のポイント

観光協会や生産者、食品加工業者など多くの関係者が連携し、大田原市の知名度向上や交流人口の増加に長年貢献してきた点と、新たな商品開発や地元小学生への普及活動にも積極的であり、今後も地域活性化への貢献が期待される点が特に高く評価され、大賞に選出された。



「とうがらし生産量日本一宣言」の様子



唐辛子栽培講習会の様子

【栃木県知事賞】

◆NPO 法人おやまグリーンツーリズム（小山市）

●活動の特色

- ・「食と農」をテーマに地域の有機農家と連携し、農業体験や食育等に取り組んでいる。
- ・農業体験では、物語性を持たせたり、野菜ソムリエによる解説を組み込んだりするなど、独自性の高い取組を展開している。

●受賞のポイント

農業体験や食育など、食と農の理解促進に関する活動を多岐にわたり展開しており、設立から約3年と新しい組織でありながら、今後その取組が広がることで、有機農業の担い手確保などさらなる地域の発展へ貢献することが期待され、高く評価された。



理事長 工藤かや 氏



さつまいも収穫体験の様子

【栃木県知事賞】

◆ハツ木環境資源保全会（芳賀町）

●活動の特色

- ・多面的機能支払交付金を活用しながら地域内の農地や農業用施設の維持管理を行っている。
- ・草刈応援隊の活動は、農業者の作業効率向上に寄与しているだけでなく、非農業者を含めた地域住民の交流の場にもなっている。

●受賞のポイント

景観維持や、農業者と非農業者をつなぐ場づくり、子どもたちへの伝統行事の継承などに取り組み、地域資源を守りながら農村社会のコミュニティ形成にも貢献している点が評価された。



ハツ木環境資源保全会のメンバー



「どんど焼き」の様子

3 芽吹き力賞

今年度の芽吹き力賞には、各地から7点の応募があり、自身の経験に基づく独自性の高い農業に取り組む若手農業者が多く見られた。それぞれが理想とする農業の実現を目指し、着実な規模拡大を図るだけでなく、独創的かつ効果的なブランド化を行うなど、今後の発展が期待される。

審査は「活動の動機と着想、課題解決に向けた創意工夫」の評価を基本に、推進体制や活動の成果、今後の発展性といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て、各賞を選出した。

【栃木県知事賞】

◆井上 真梨子・井上 敬二郎（那須町）

●活動の特色

- ・「世界一愛されるお米ブランド」を目指し、6次産業化や農業体験、地産地消の推進など、幅広い取組を通じて農業・農村のもつ魅力を発信している。
- ・水稻栽培のリアルを多くの消費者に知ってもらうため、SNSでの定期的な発信に加え、「田んぼでカフェ」「田んぼでCAMP」など、実際に田んぼに訪れてもらい、季節の風景とともに生産者の思いを直接伝える取組も展開している。

●受賞のポイント

SNSやメディアを活用して自身の活動をPRしつつ、気軽に農村に足を運んでもらえるような仕組みづくりも行っており、バーチャルとリアルを上手く組み合わせて新たなビジネスモデルを作り上げている点が高く評価された。



井上敬二郎 氏（左）・井上真梨子 氏（右）



「田んぼでカフェ(Tan cafe)」の様子

【栃木県知事賞】

◆日光 SGS（日光市）

●活動の特色

- ・酪農家と耕種農家、酪農協で構成される組織で、粳米サイレージの製造・供給を行っている。
- ・食用米の価格低下や飼料費の高騰により影響を受けた耕種農家と酪農家の架け橋となり、構築連携を促すことで、両者の課題解決に寄与している。

●受賞のポイント

地域が抱える問題に対して、耕種農家等の関係者に計画的にアプローチしたことで、県内最大規模の粳米サイレージ製造プラントを立ち上げた点が高く評価された。



会長 鷹箸稔 氏



粳米サイレージ製造の様子

【栃木県知事賞】

◆笹沼 俊介（さくら市）

●活動の特色

- ・祖父母から経営を継承し、ウォーターカーテンハウスや水圧式そぐり機等の新たな技術・装備を積極的に導入しながら、発展させてきた。
- ・新技術・装備の導入効果は地域生産者にフィードバックしたり、他産地の若手生産者と情報交換したりしている。

●受賞のポイント

新技術・装備の導入効果を実証するだけでなく、その効果を地域の生産者にも広く共有しており、今後の園芸産地発展への貢献が大いに期待される点が評価された。



笹沼俊介 氏



笹沼俊介 氏（中央）と家族・従業員